

問 ヤフーとの連携協定は

答 一定期間経過により見直しへ



津滝俊幸 議員

【産学官連携や官民連携】

問 ヤフー(株)との連携協定を見直しを行う理由は。

答 平成26年より連携協定を締結。ICT教育やプログラミング教室、テレワーク事業等で成果があった。一定期間が経過し、ヤフー側から協定内容や旧ノルウェービレッジの賃貸借契約の見直す旨の相談があり、村でも同調し連携内容について調整を進めている。

問 S Bドライブとの連携協定の進捗状況は。

答 28年に自動運転技術を活用したスマートモビリティサービスの実用化について連携協定を締結。現在、主立った成果は挙がっていない。今後協定を見直したい。

問 信州大学との連携協定の進捗状況は。

答 27年より連携協定し、本年4月に更新。連携事業はユニバーサルツーリズム推進人材育成事業、神城断層地震震災アーカイブ関連事業、地域公共交通網形成計画策定事業、木質バイオマス関連事業、白馬高校魅力化プロジェクト等順調に進んでいる。

問 連携事業に伴う人事交流は。

答 民間と行政は異なる組織。職員が研鑽と視野を広げることが良い経験だ。人事交流による資質向上を前向きに考えたい。

問 未来投資促進法に基づく連携事業の進捗は。

答 第4駐車場の新商業施設は、環境基本条例に基づく事前協議を9月に、11月2日に環境保全協定を締結。12月に開発申請が提出された。実施設計に着手し、工事請負会社が決定と聞く。

問 ペーパーレス化の推進は

答 進めるべき行政改革の一つ

【文書管理】

問 管理方法については。

答 公文書は白馬村文書管理規定に基づき管理している。また会議資料、相談交渉記録、首長への説明資料等も、メモ書きを除き公文書に当たるので同様の規定により管理している。

問 公文書の公開・非公開の判断は。

答 白馬村情報公開条例に基づき行っている。

問 ペーパーレス化の推進は。

答 働き方改革の観点から、業務改善に取り組みよう指示。時間管理や生産性向上、会議の見直しや廃止など発想を転換し着手する。改革の一要素としてペーパーレス化に取り組み、資料作成や配布など他律的に時

間が制約され、とらわれる事が無いようにする。

問 軽減税率の情報提供は

答 さまざまな媒体を利用して周知する

問 消費税10%に伴う行政対応

問 条例改正は。

答 必要なものから改正を検討していく。

問 31年度予算への対応は。

答 歳入では市町村交付金が増額の見込みであるが、どのくらい増やされるかは動向を注視。歳出では当初予算に見込めるものは計上する。但し事務処理が遅れたからと翌年度になつてからの補正要求は認めないと再三指示している。



煩雑な書類の中で仕事をする職員の仕事の机。ペーパーレスが急務では！